アジャイル開発に関する有識者検討会の開催について

1. 目的

デジタル庁は、令和６年度に実施した、諸外国政府等によるオープンソース化・OSS利活用の取組及びアジャイル開発に関する調査結果を基に、それぞれの専門的知識・経験を有する有識者の意見等を踏まえ、アジャイル開発を採用することが効果的なプロジェクトを判断するための基準等について検討を進めるため、アジャイル開発に関する有識者検討会（以下「有識者検討会」という。）を開催する。

2. 有識者検討会

⑴ 構成

有識者検討会は、別紙の構成員をもって構成する。

⑵ 座長

座長は会務を統括する。

⑶ 議事

① 有識者検討会は、座長が招集する。

② 座長は、必要があると認める場合は、構成員以外の者に有識者検討会への出席を求め、その意見を聞くことができる。

③ 座長は、構成員以外の者が有識者検討会を傍聴することを認めることができる。

3. その他

本資料に定めるもののほか、有識者検討会の運営、その他必要事項については座長が定める。

（別紙）

アジャイル開発に関する有識者検討会　名簿

【構成員】

座長	狩野　英司	立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部 准教授
委員	杉井　正克	一般財団法人 GovTech 東京 シニアエキスパート
委員	岡島　幸男	株式会社 永和システムマネジメント 取締役
委員	佐野　友則	プラス株式会社 デジタル統括部門アジャイル戦略部 部長
アドバイザー	木村　康紀	デジタル庁政策・法務ユニット 法務スペシャリスト

（以上敬称略）